

— 渋沢栄一 新紙幣発行記念特別編 —

第36回

ひなまつり展

令和6年度第3回企画展



稚児雛(内裏雛) 大正時代



青い目の人形を抱く栄一 (埼玉県立歴史と民俗の博物館所蔵)

青い目の人形(ローズ・メリー) 昭和時代



稚児雛(五人囃子) 大正時代

※人形はすべて当館蔵

渋沢栄一による
**日米友情
人形交流**
についても紹介!

2025年

2/14(金) ▶ 3/23(日)

■休館日 木曜日(ただし祝日3月20日は開館) ■開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで)



ミュージゼ / Musée

中之条町 歴史と民俗の博物館
Nakanajo Museum of Folk and History

〒377-0424 群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町947-1
TEL 0279-75-1922 URL <https://www.town.nakanajo.gunma.jp/site/myuze/>

■観覧料 一般200円(160円) 小中学生100円(80円)

※()内は20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と、その付き添いの方1名は無料



第36回ひなまつり展

渋沢栄一新紙幣発行記念特別編

雛祭りは、女兒のある家で雛人形や雛道具を飾り、幸福や健やかな成長を願う行事です。

本展では、様々な時代・様式の雛人形を展示することで、それらの変遷や背景にあった時代・社会の移り変わり、人形に込められた人々の願いを紹介します。

また、今年度は渋沢栄一の新紙幣発行を記念し、「青い目の人形」特別コーナーも設けます。青い目の人形は友情人形とも呼ばれ、日米友好を願った渋沢の交流事業として、昭和2年3月3日の雛祭りに合わせてアメリカから日本に贈られた人形です。

当時の人たちが人形に込めた「願い」に思いを馳せていただくと幸いです。



童子・童女人形 明治末期



古今雛(内裏雛) 明治時代



永徳齋作有職雛(段飾り) 明治末期



永徳齋作有職雛(七人雅楽) 明治末期



享保雛 江戸後期



和利宮吾妻神社のヒトガタ流し

※すべて当館蔵

関連イベント

- 学芸員による見どころ解説
2月22日(土)、3月8日(土)
いずれも13時30分～(30分程度)
※申込不要、要観覧料。
企画展示室にお集まりください。

主な展示内容

- ・江戸時代～近代の雛人形の変遷 —享保雛・古今雛—
- ・朝廷貴族の装束をまとう 永徳齋作有職雛(町指定重要文化財)
- ・近代以降の雛人形にみる社会の移りかわり
- ・雛祭りの起源を探る —ヒトガタと祓—
- ・渋沢栄一による日米親善人形交流 —青い目の人形—

同時開催 /

昭和のくらしと道具展

さわって体験! **ハンズオン展示** も用意

電化製品などの便利な道具がまだ少なかった昭和時代、人々の日常生活や使われていた道具がどのようなものだったのかを紹介します。

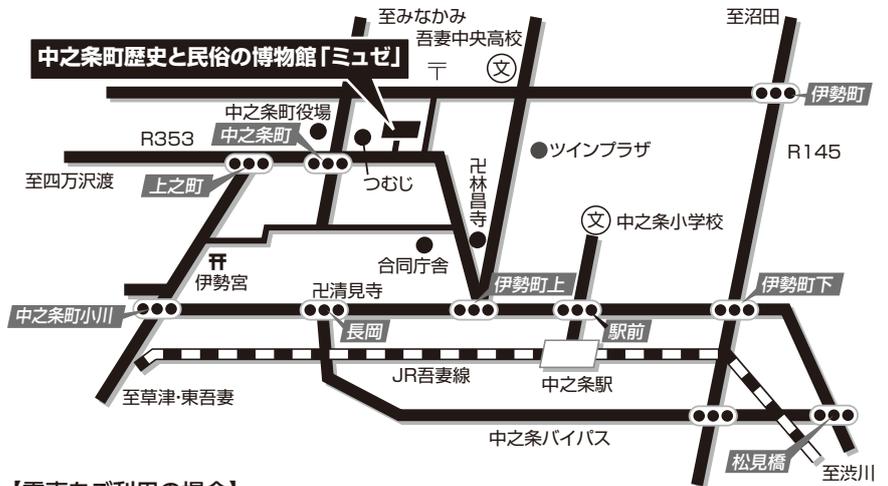


黒電話 (NTT東日本所蔵)



昭和の茶の間再現展示

交通案内



【電車をご利用の場合】

- ・JR吾妻線中之条駅から徒歩約15分
- ・中之条駅から関越交通バス(四万温泉行または沢渡温泉行)約5分、「博物館前」下車

【車をご利用の場合】

- ・関越自動車道 渋川伊香保ICから約40分(駐車場 約20台)